

# 仏女新聞

2017年9月号 編集・発行 飯島可琳

西大寺展に八月末から秘仏・愛染明王が加わった。寺伝によれば、  
蒙古襲来の際に叡尊による祈禱で本尊をつとめ、結願の日に携え  
た鏑矢で敵を敗退させたといわれる。

どれだけの敵が、怒りで上気した顔に気圧  
されたことだろう。

年月の経過で赤い彩色の大半は黒みを帯び  
る。しかし、彫りの深い部分にはかつての色  
彩が残る。小さな愛染明王の体内には赤い炎  
があって、その光があふれ出ているように見  
える。大愛至情の本性を示すものだろうか。  
力強い体躯と対照的に光背はまるい。静かに  
祈禱を見守るようすが思い浮かぶ。

『あべのハルカス美術館』で9月24日(日)まで

<http://saidaiji.exhn.jp>

